



市民アンケート調査 人口分析の概要

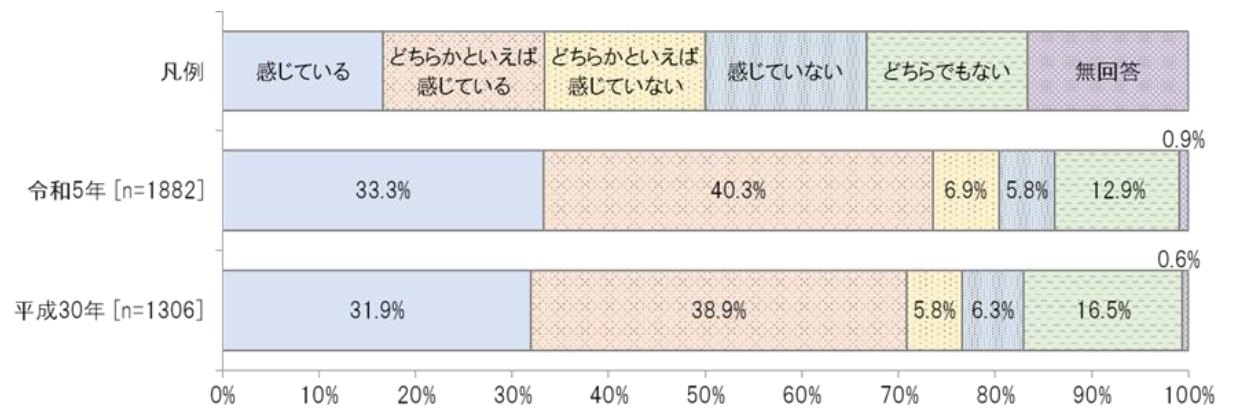
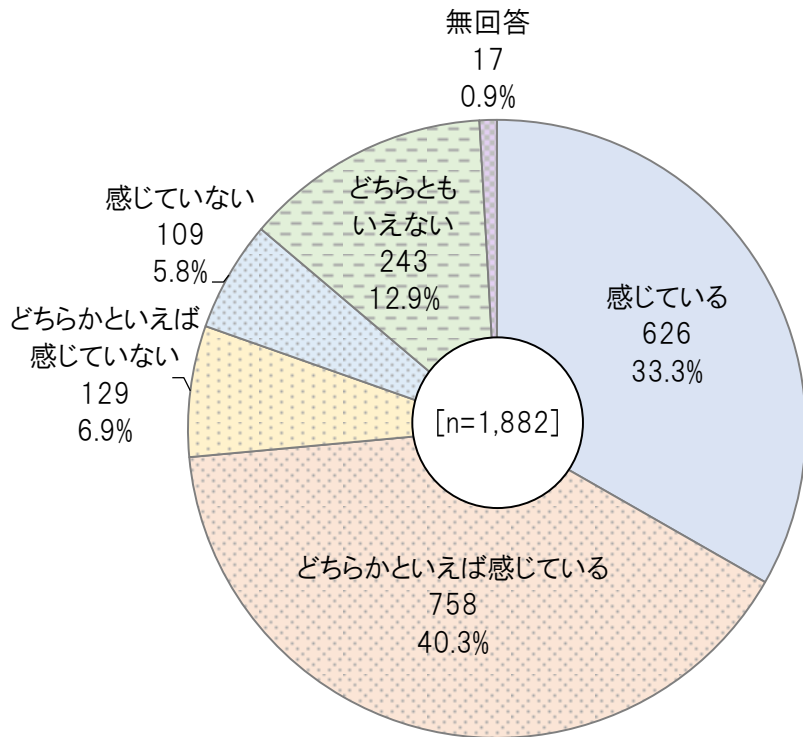
令和6年6月20日
周南市企画部
企画課

アンケート調査の概要

調査	対象者	回答数	回答率 (前回)
市民アンケート調査	18歳以上の 市民4,000人	1,882件	47.1% (43.5%)
結婚・出産・子育てに 関する意識調査	18から39歳までの 市民3,600人	1,149件	31.9% (27.3%)
移住・定住に関する 意識調査	18から34歳までの 市民3,600人	1,068件	29.7% (25.2%)
進路に関する意識調査 (高校生)	市内の高校3年生1,245人 (学校定員数の合計)	983件	79.0% (81.3%)
進路、定住に関する 意識調査(大学生)	周南公立大学 1～3年生862人	268件	31.1% (—)

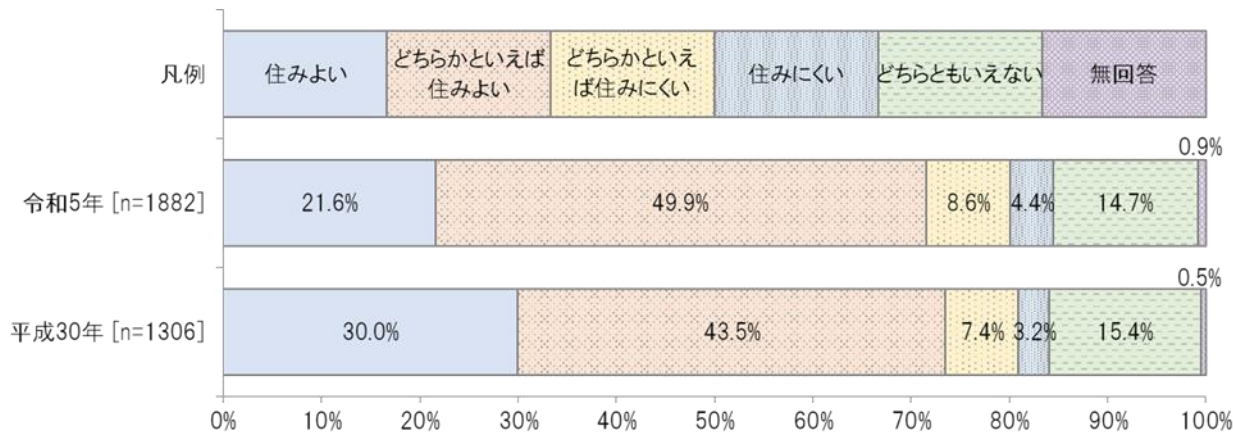
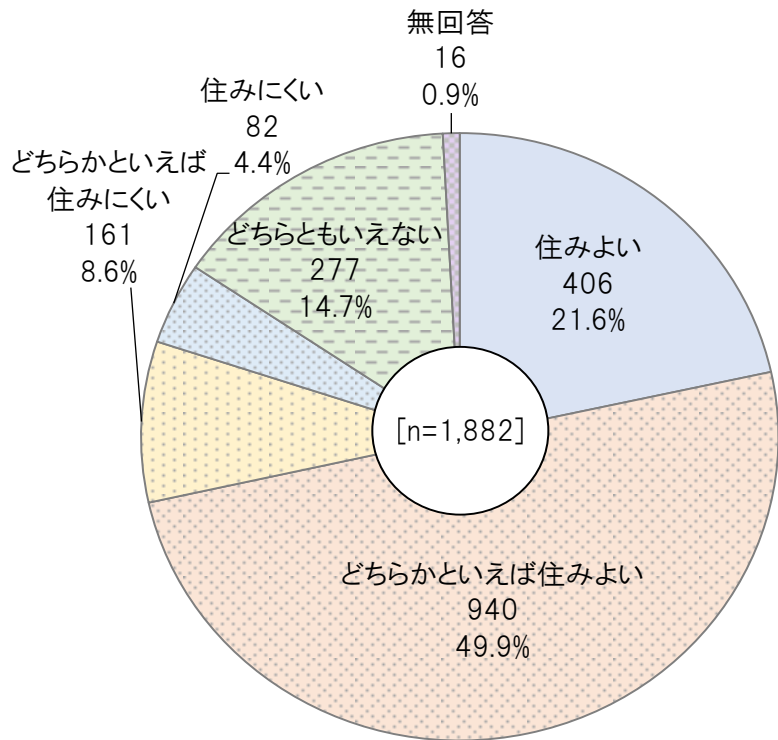
周南市への愛着

(市民アンケート 問8)



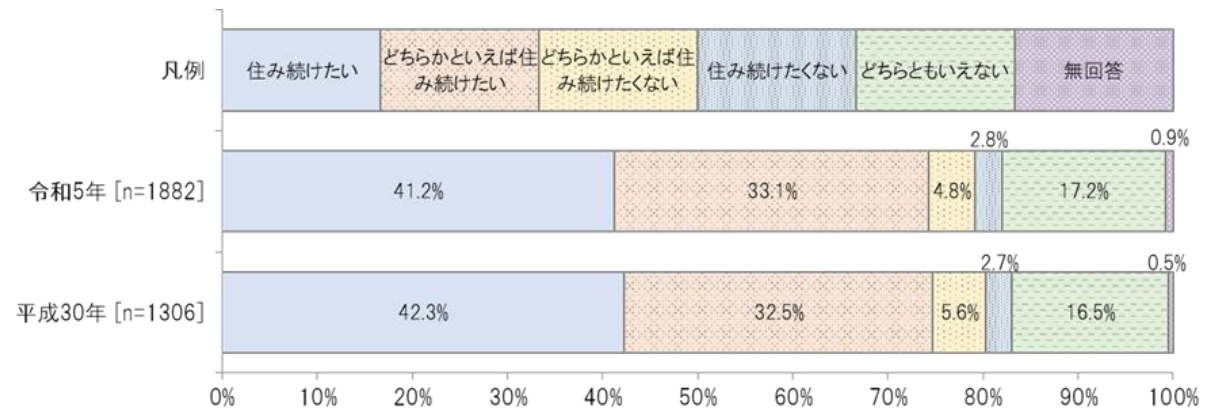
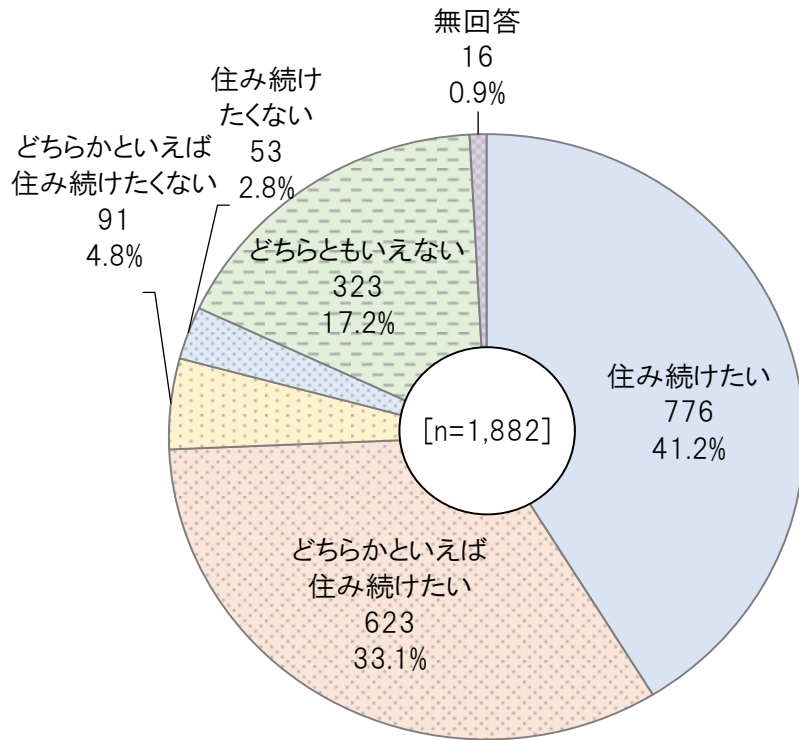
周南市の住みよさ

(市民アンケート 問9)



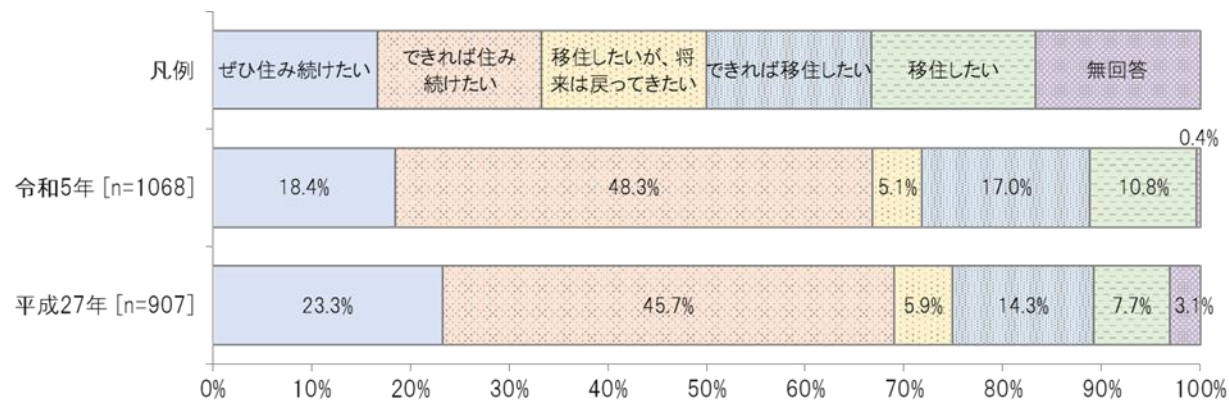
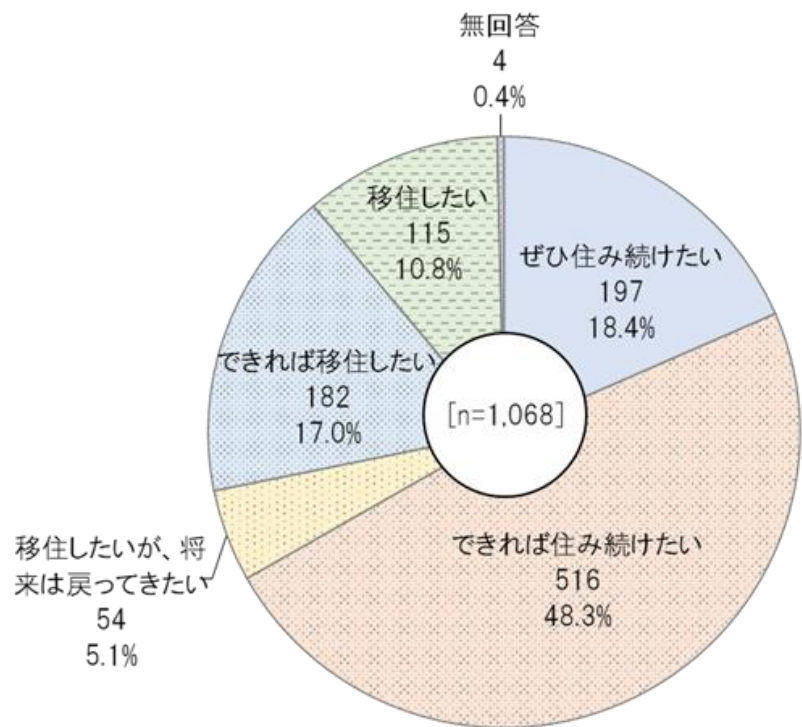
市民(18歳以上)の居住志向

(市民アンケート 問10)



市民(18歳から34歳)の居住志向

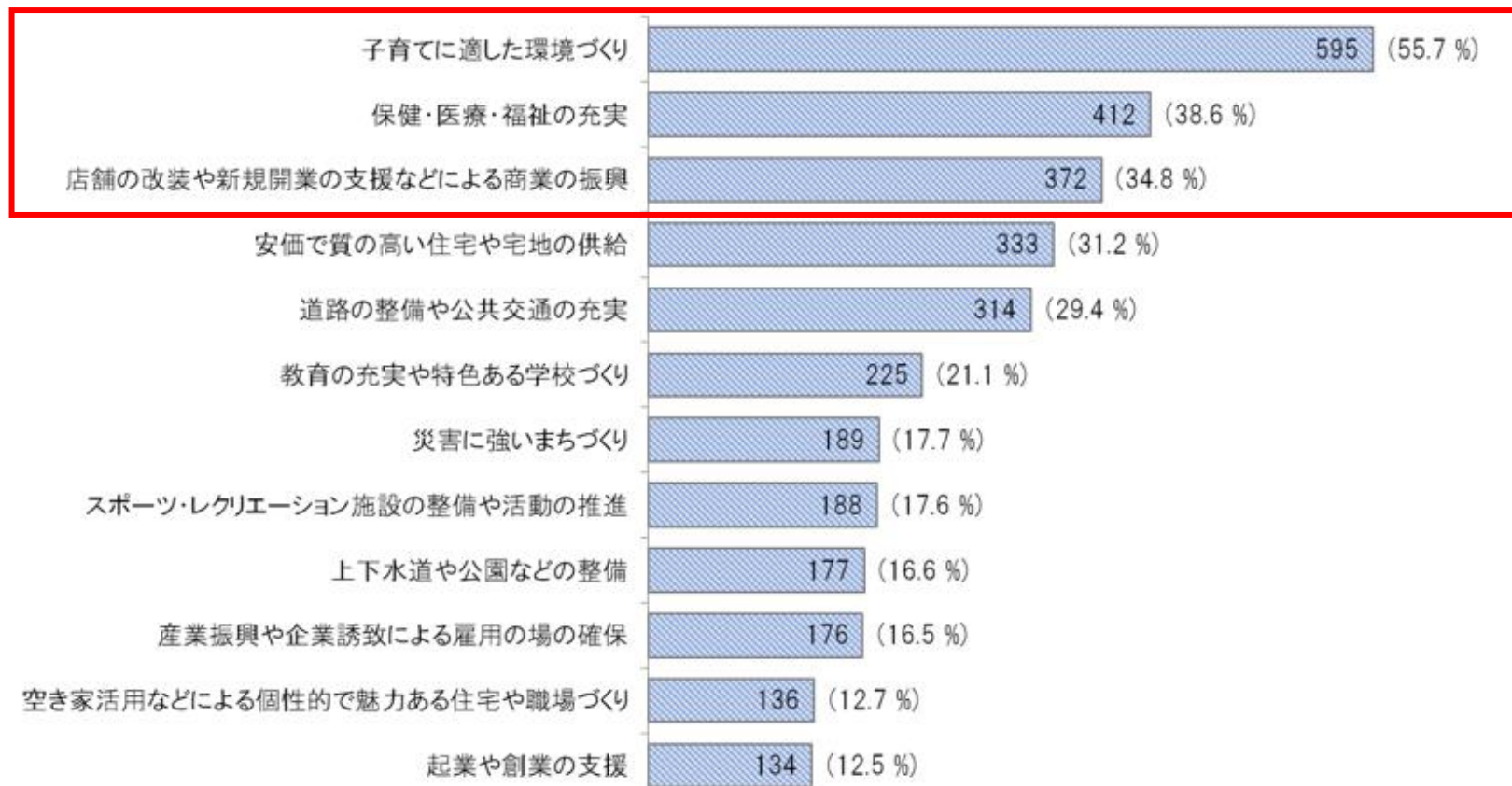
(移住・定住に関する意識調査 問12)



定住者を増やすために必要だと思う施策(上位抜粋)

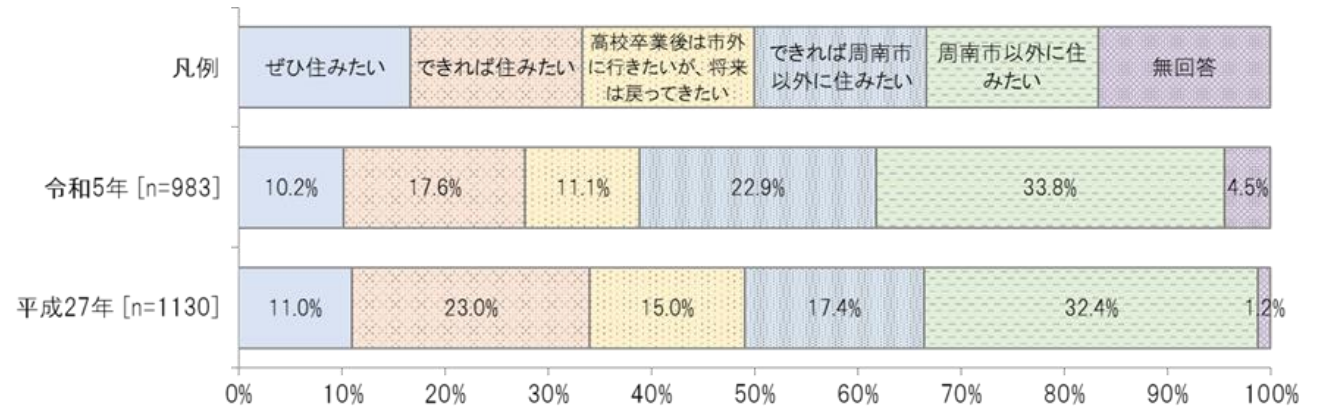
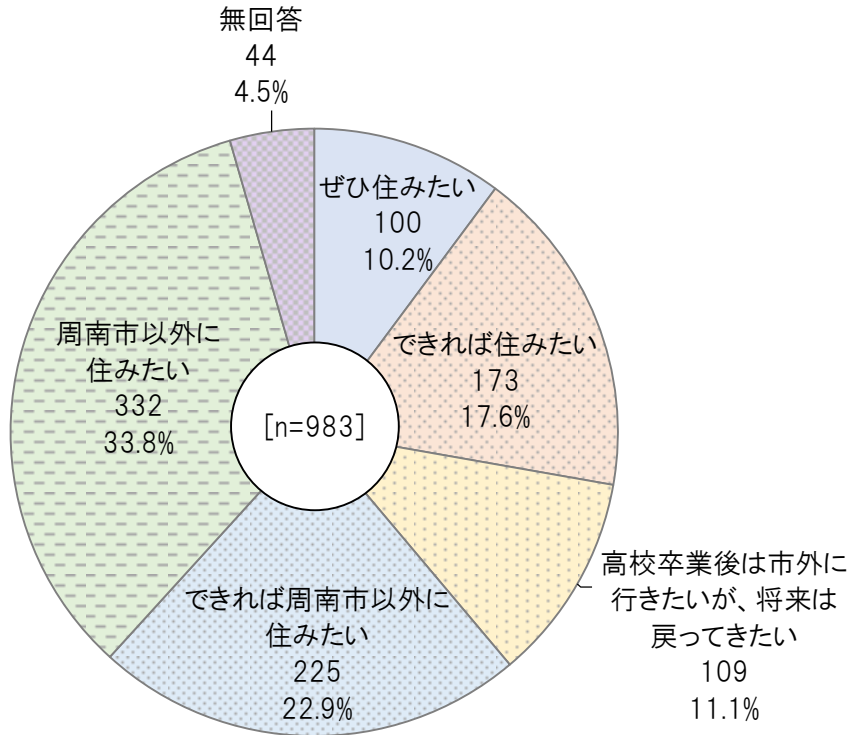
(移住・定住に関する意識調査 問20)

[n=1,068]



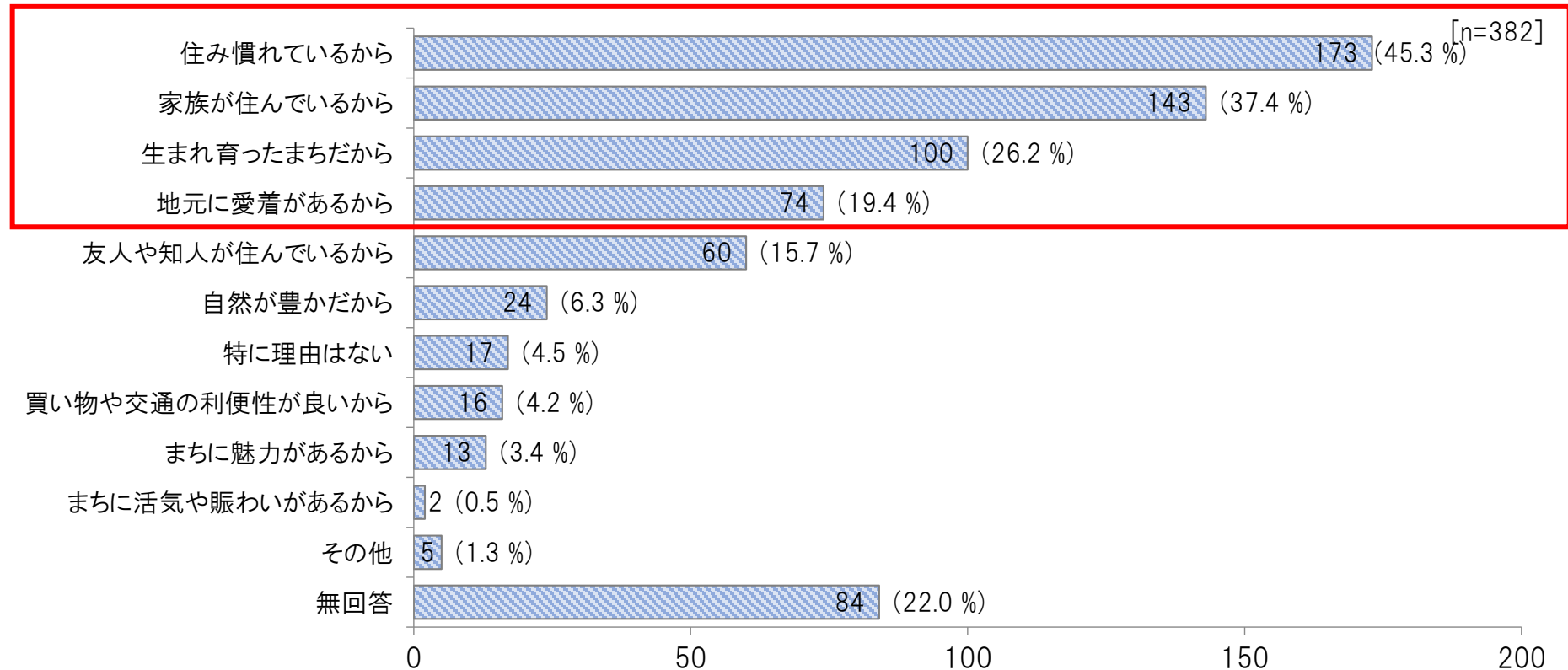
高校3年生の居住志向

(進路に関する意識調査(高校生) 問11)



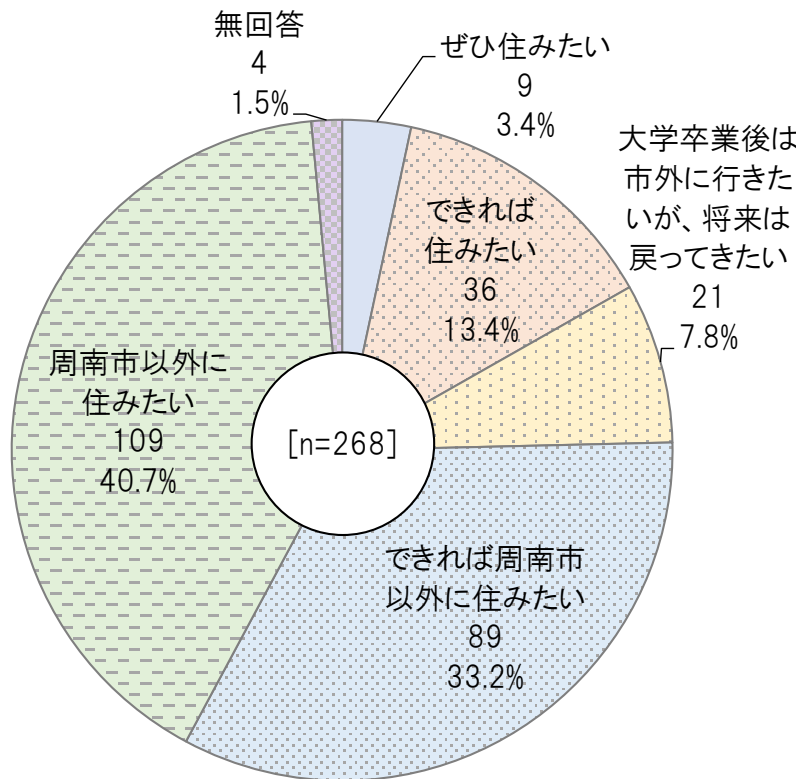
高校3年生が周南市に住みたい、または戻ってきたい理由

(進路に関する意識調査(高校生) 問12)

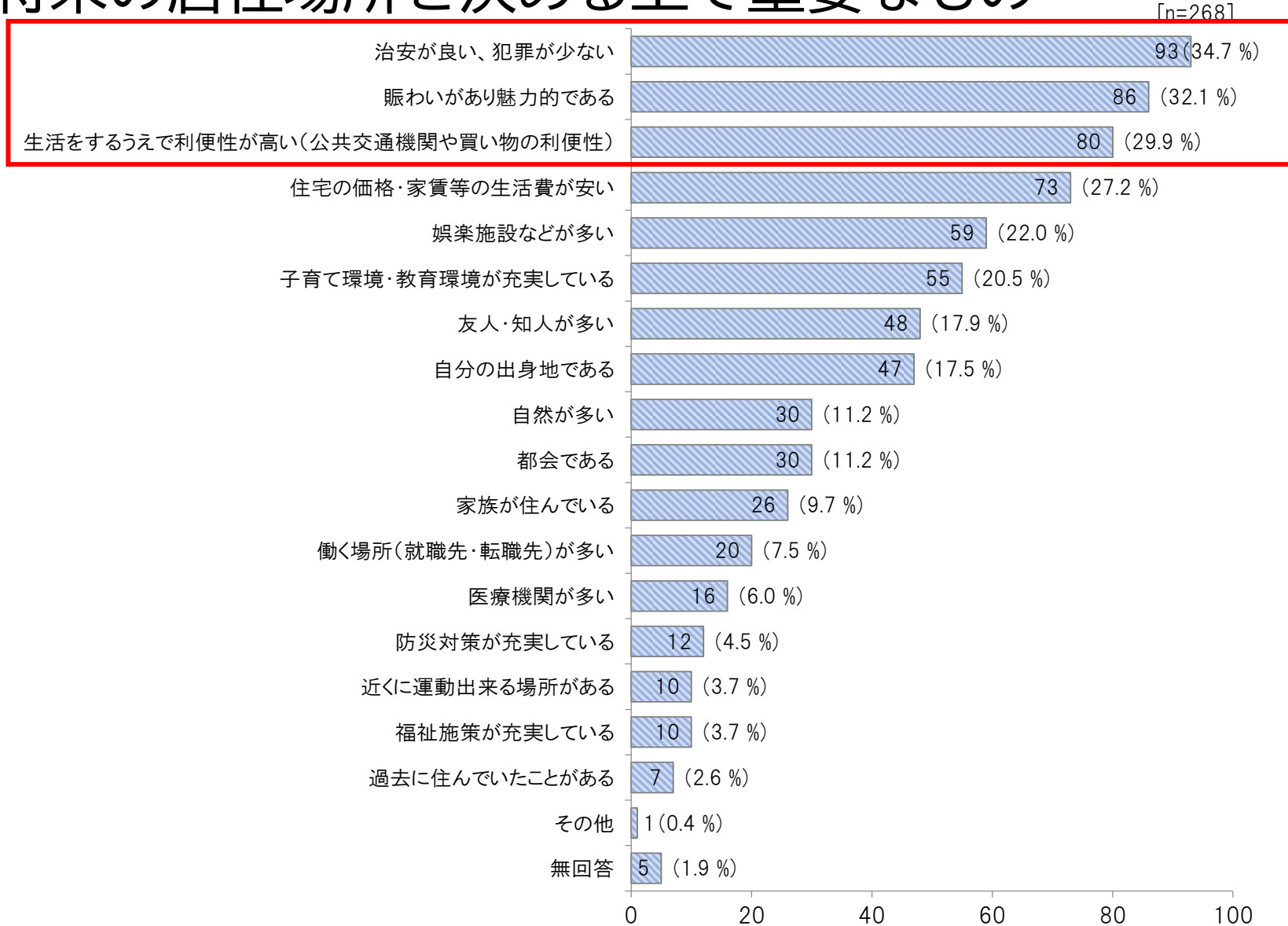


周南公立大学生(1~3年生)の定住志向

(進路、定住に関する意識調査(大学生) 問16)

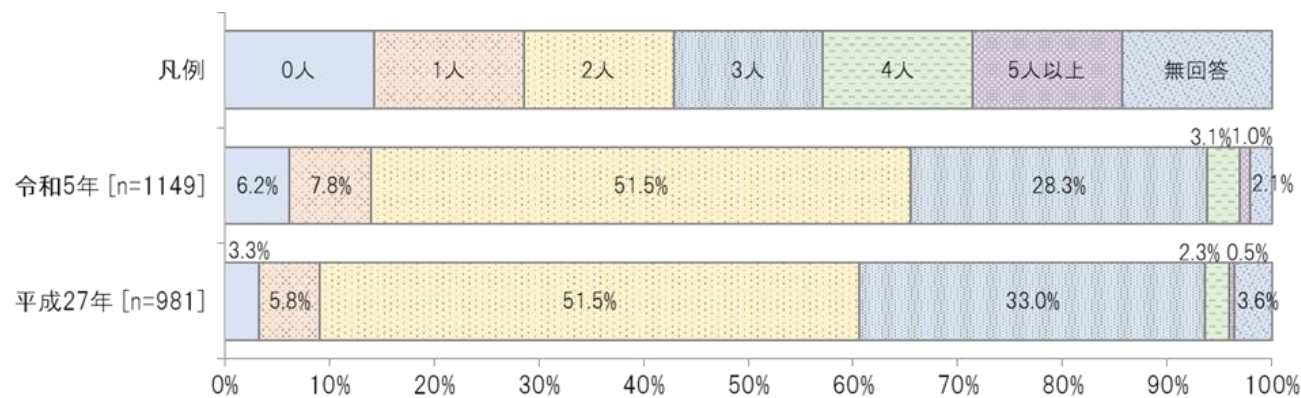
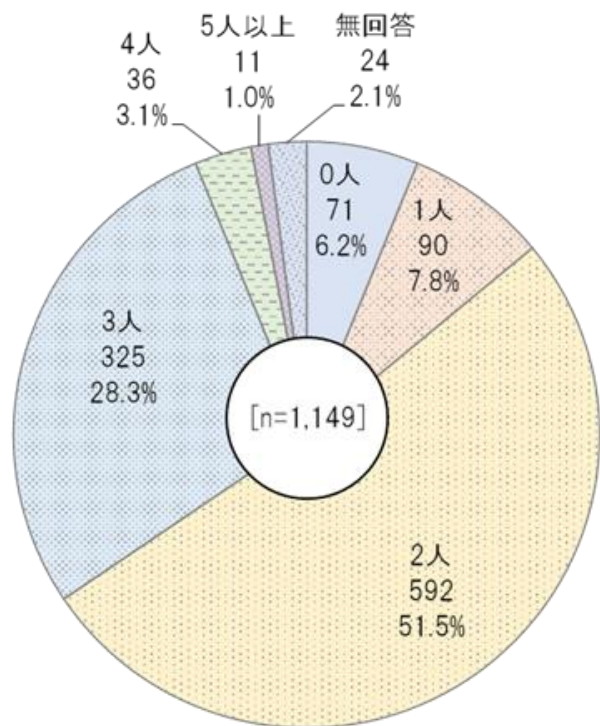


周南公立大学生(1~3年生)が 将来の居住場所を決める上で重要なもの



市民(18歳から39歳)の理想の子どもの数

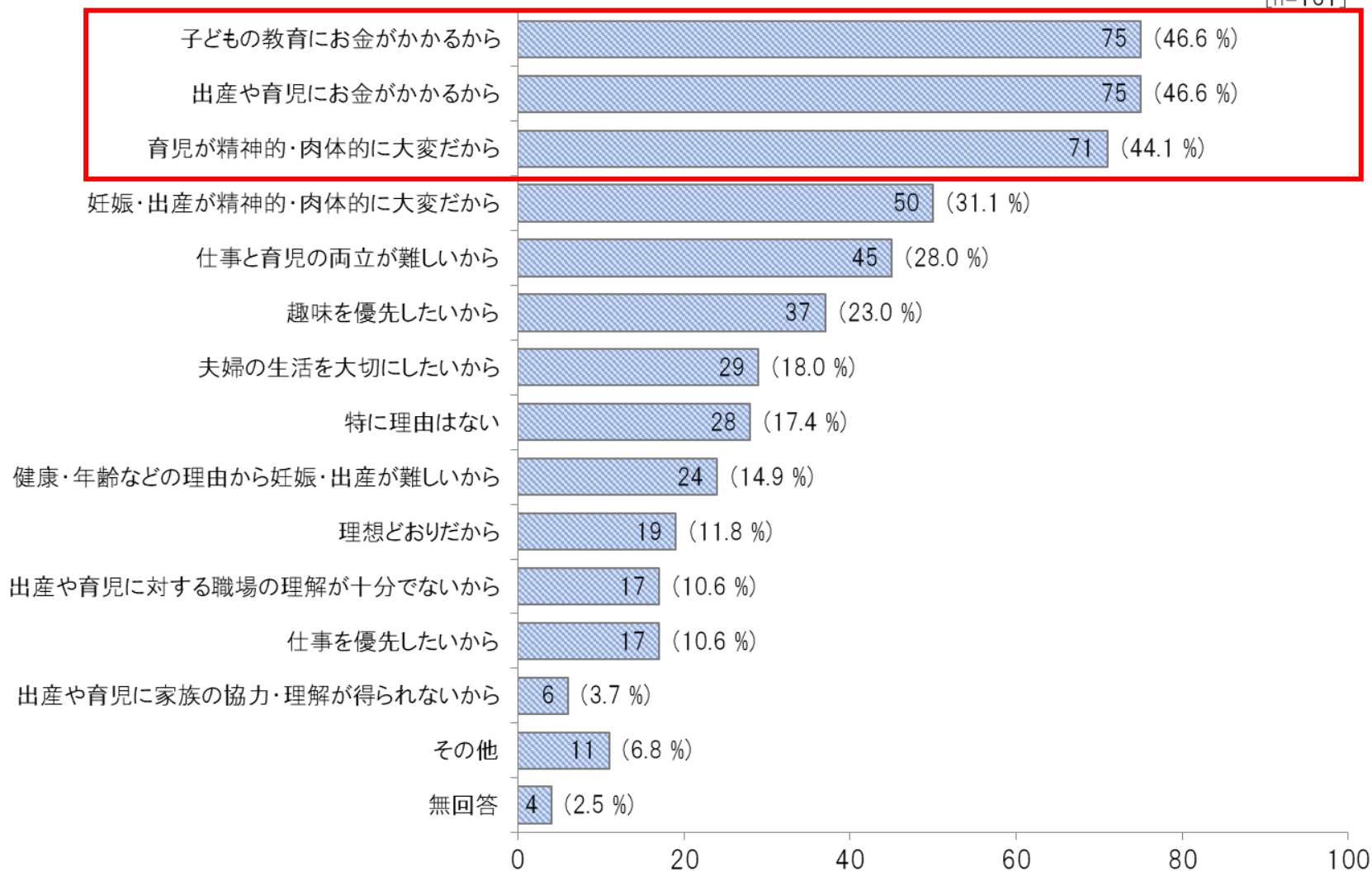
(結婚・出産・子育てに関する意識調査 問27)



理想の子どもの数を「0人」または「1人」と答えた理由

(結婚・出産・子育てに関する意識調査 問28)

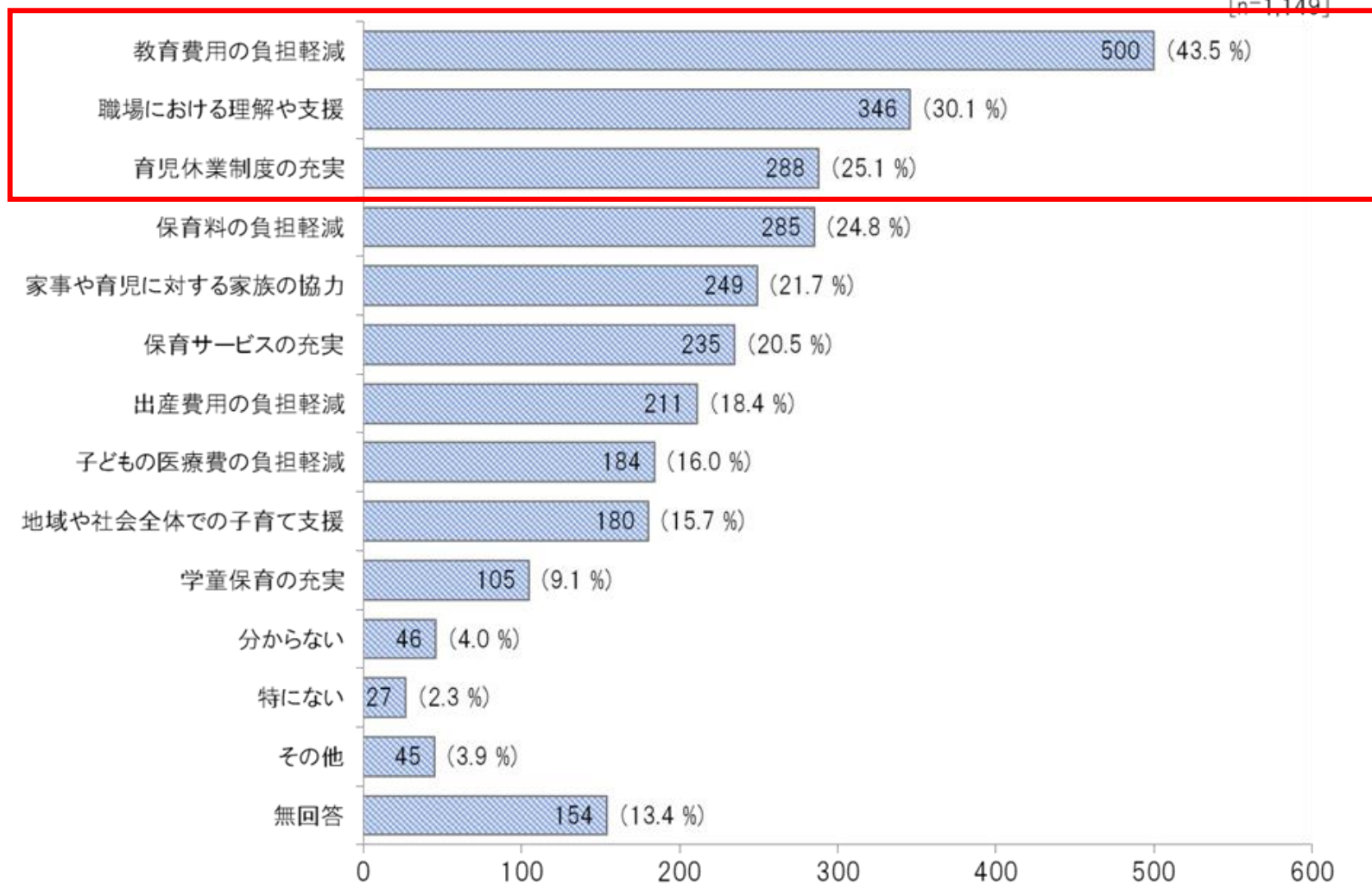
[n=161]



理想の子どもの数をもつために必要な取組

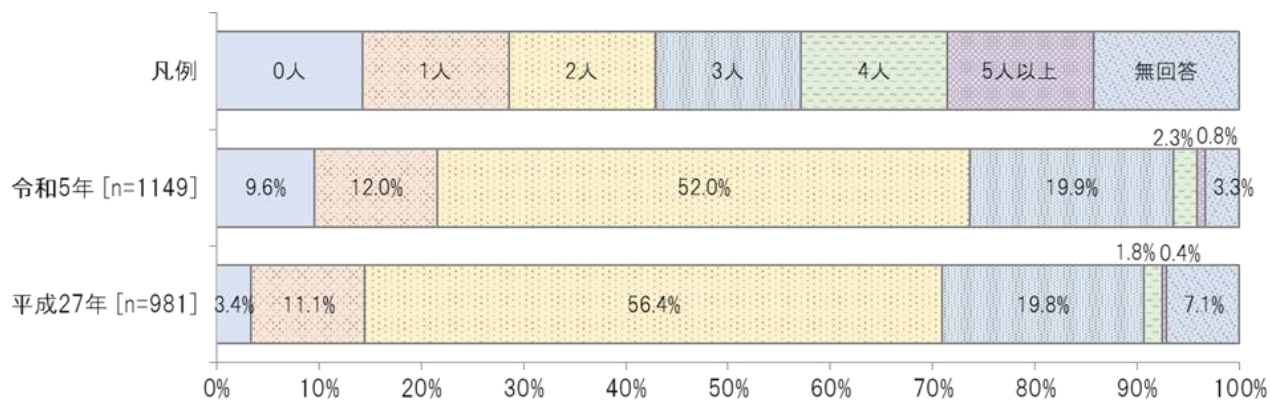
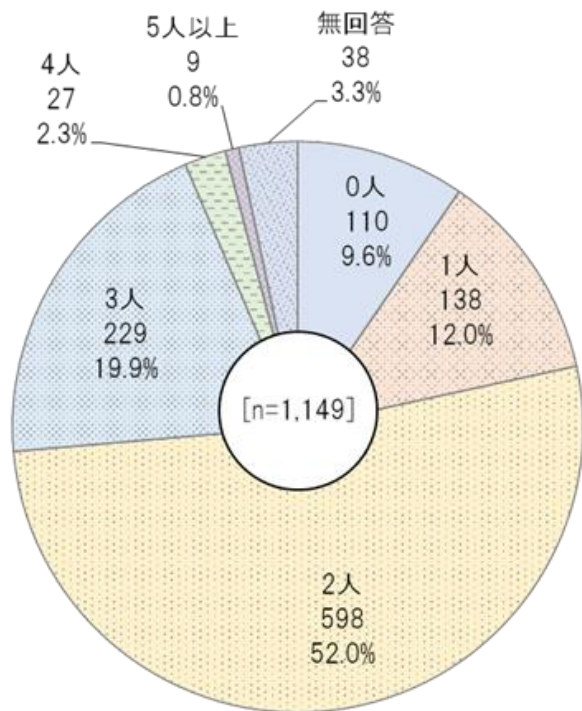
(結婚・出産・子育てに関する意識調査 問32)

[n=1,149]



市民(18歳から39歳)の現実的にもちたい子どもの数

(結婚・出産・子育てに関する意識調査 問30)



まちづくりにおける満足度と重要度(41項目)

(市民アンケート 問11)

満足度が高い取組

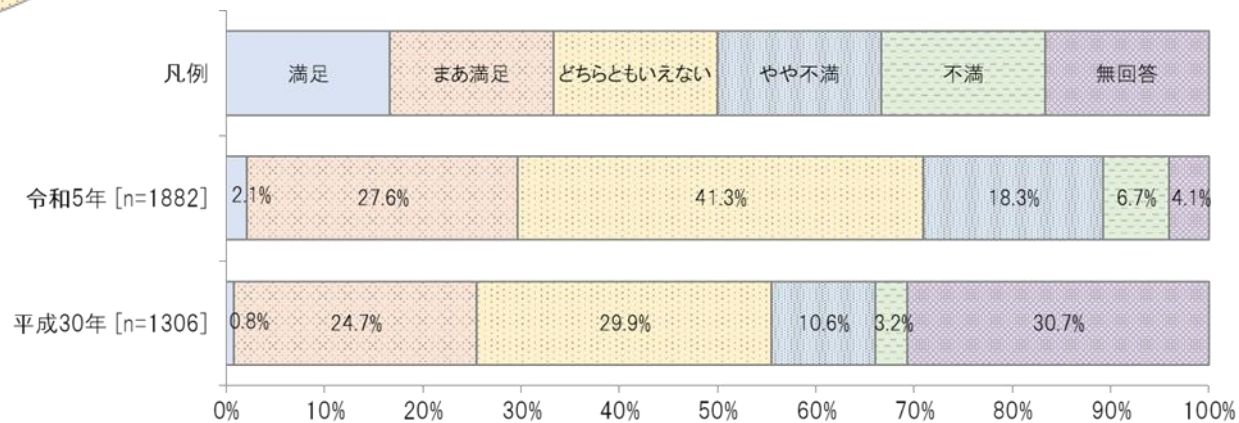
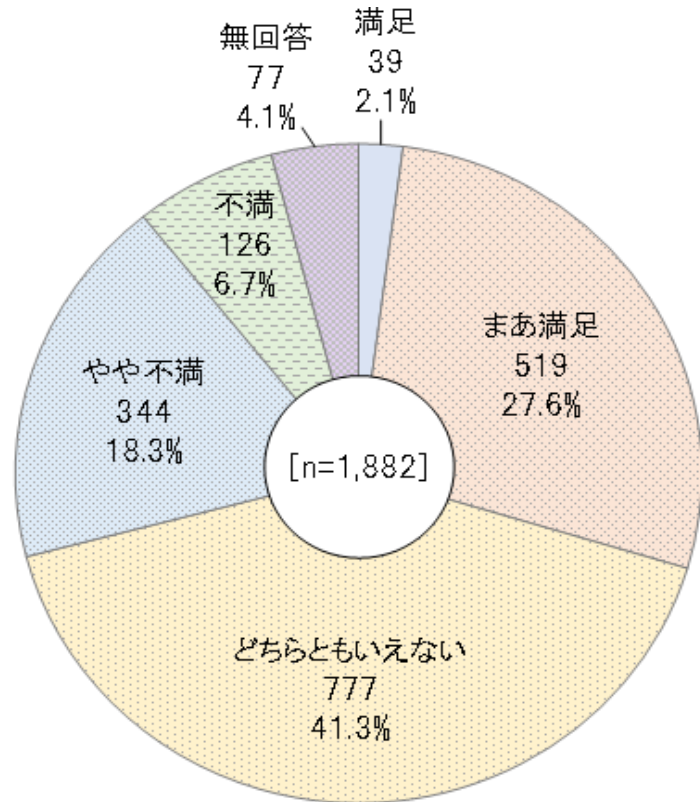
	令和5年	平成30年
1位	上下水道の整備	上下水道の整備
2位	消防・救急体制の整備	下水道・排水施設の整備
3位	下水道・排水施設の整備	消防・救急体制の整備
4位	工業の振興	廃棄物処理やリサイクルの推進
5位	廃棄物処理やリサイクルの推進	防犯対策や交通安全対策の推進

重要度が高い取組

	令和5年	平成30年
1位	病院等の医療体制の充実	少子化対策や子育て支援の充実
2位	少子化対策や子育て支援の充実	幼児教育や義務教育などの充実
3位	中心市街地の活性化	病院等の医療体制の充実
4位	バスや鉄道など公共交通の利便性	中心市街地の活性化
5位	幼児教育や義務教育などの充実	防災・減災体制の充実

まちづくりの総合的な満足度

(市民アンケート 問13)



周南市人口分析の概要

【策定の趣旨】

人口減少問題の克服に向け、本市における人口の現状を分析するとともに、市民の認識を共有し、将来人口の見通しを示すもの。

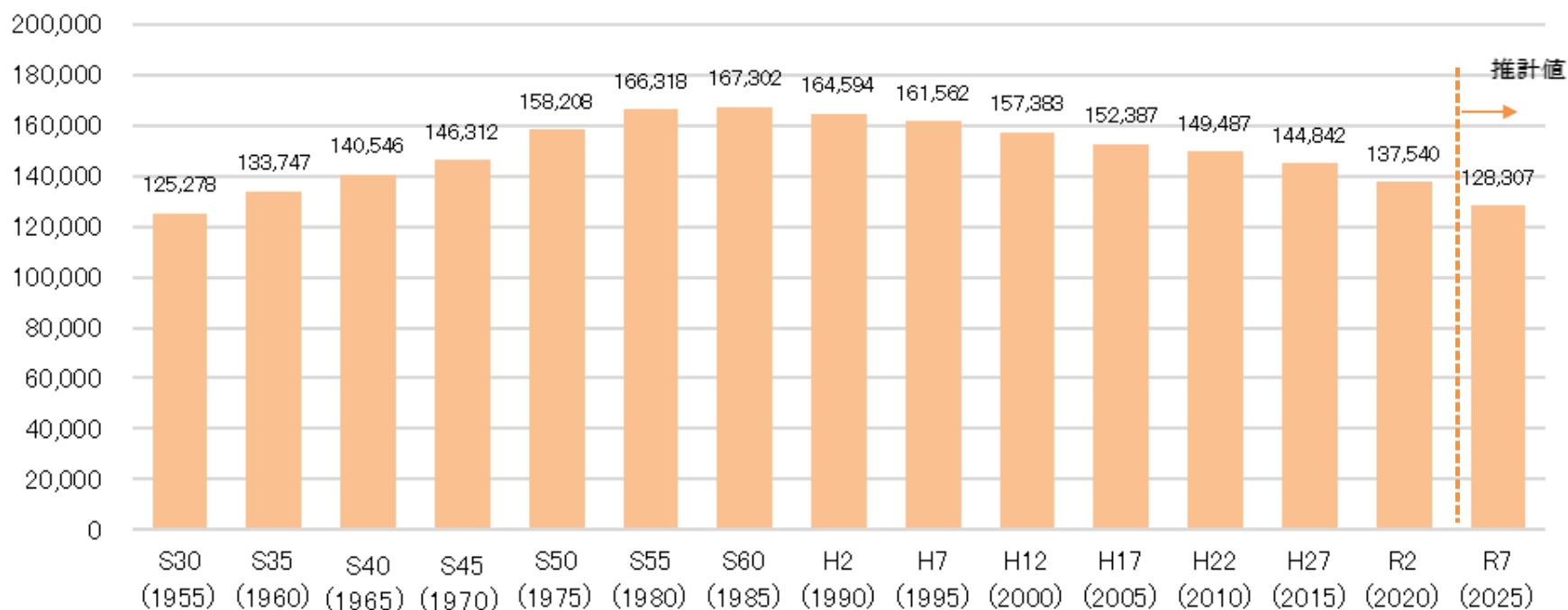
【対象期間】

令和32(2050)年まで。

総人口の推移

(人口分析 P2)

図1-1-1 総人口の推移



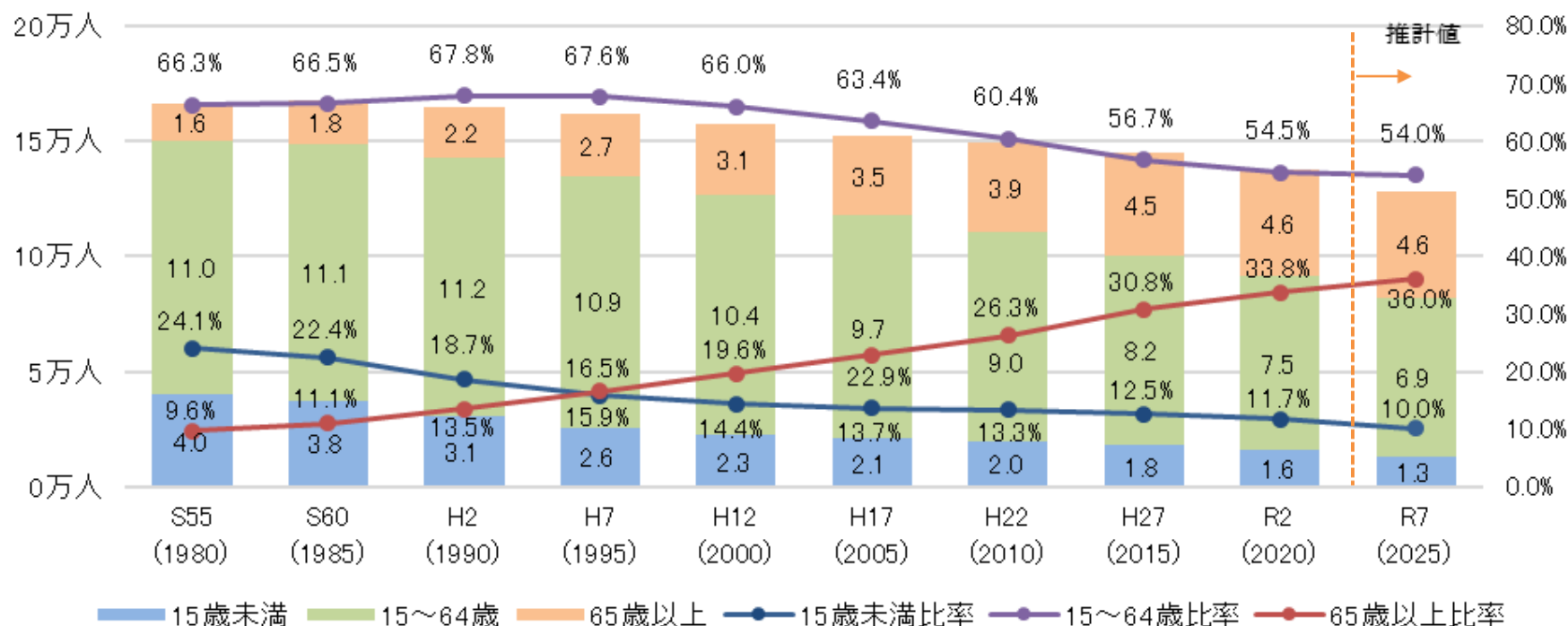
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

(注) 令和7(2025)年は国立社会保障・人口問題研究所による推計値

年齢3区分別人口の推移

(人口分析 P2)

図1-1-2 年齢3区分別人口の推移

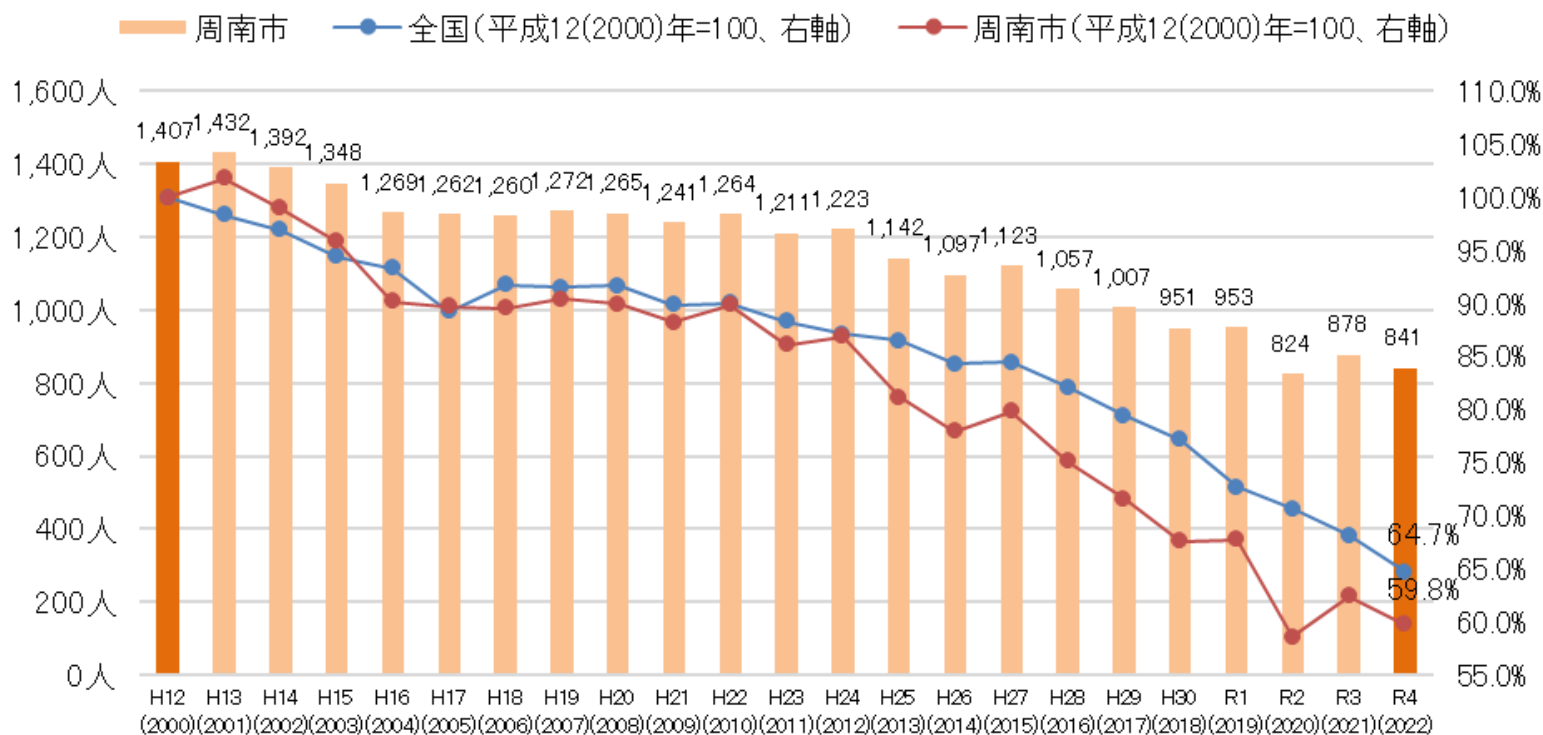


資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所
 (注) 令和7(2025)年は国立社会保障・人口問題研究所による推計値

出生数の推移

(人口分析 P4)

図1-2-2 出生数の推移

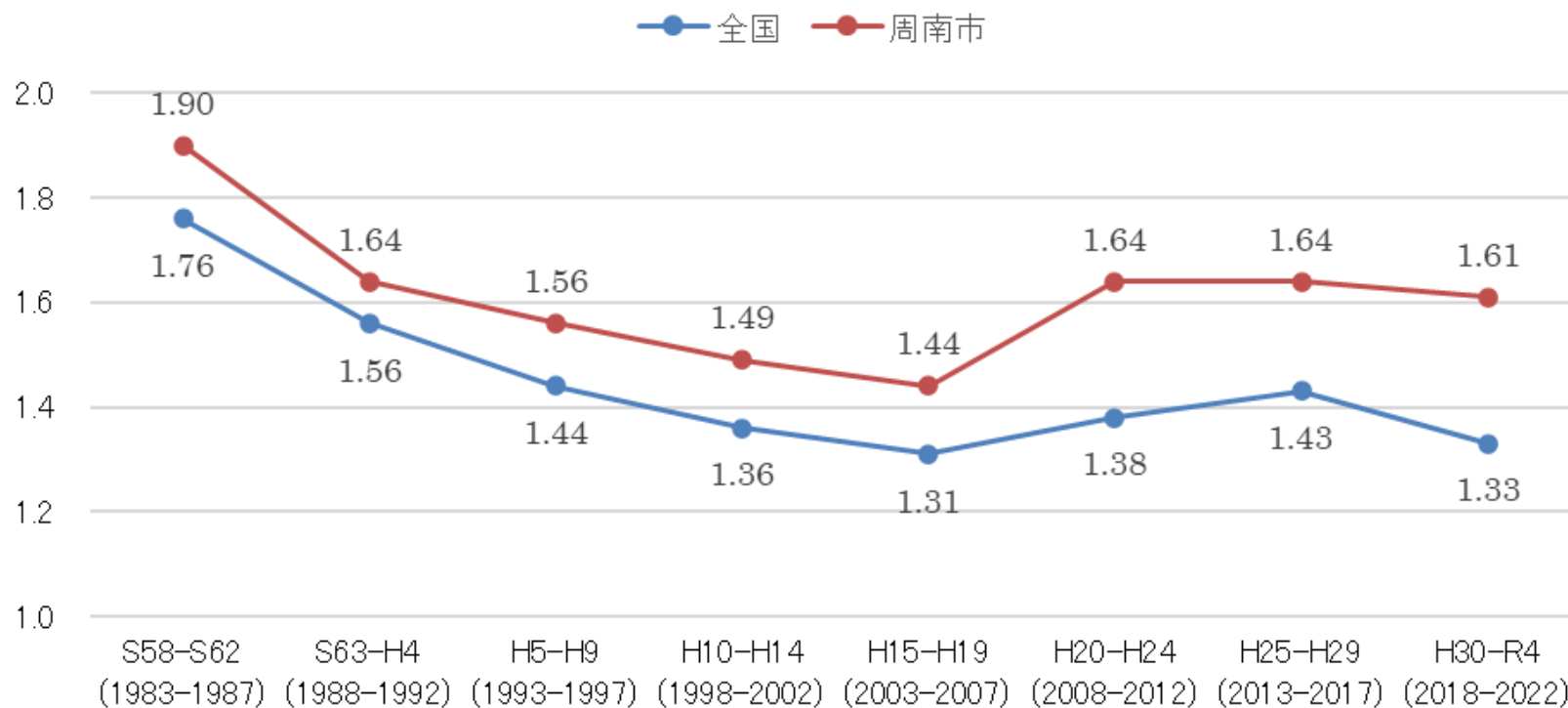


資料：山口県「保健統計年報」、厚生労働省「人口動態調査」

合計特殊出生率の推移

(人口分析 P6)

図1-2-3 合計特殊出生率の推移

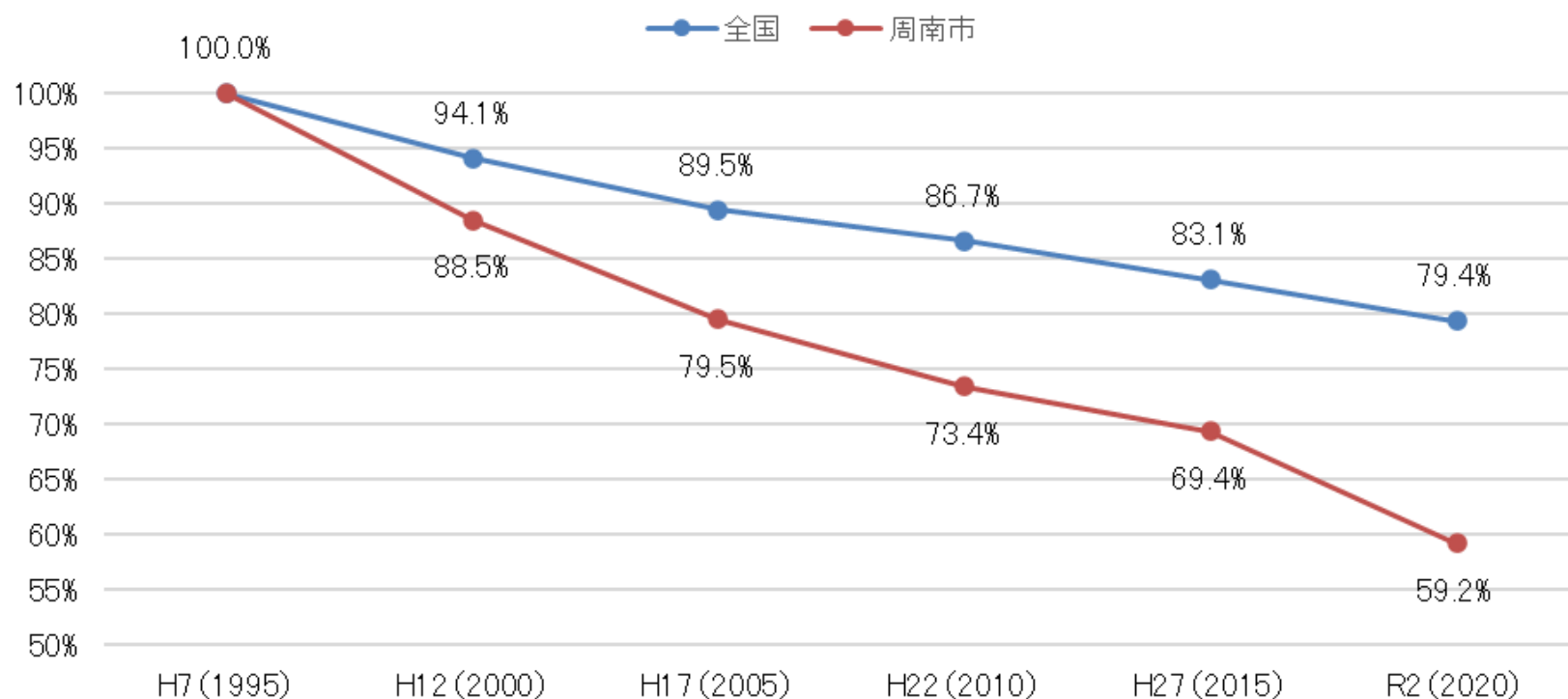


(注) 1998-2002年以前の合計特殊出生率は、徳山市、新南陽市、鹿野町、熊毛町の合計特殊出生率を各自治体の15-49歳女性数で加重平均して算出した
資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

女性の数(15～49歳)の推移

(人口分析 P7)

図1-2-6 女性数(15-49歳)の推移(1995年=100)

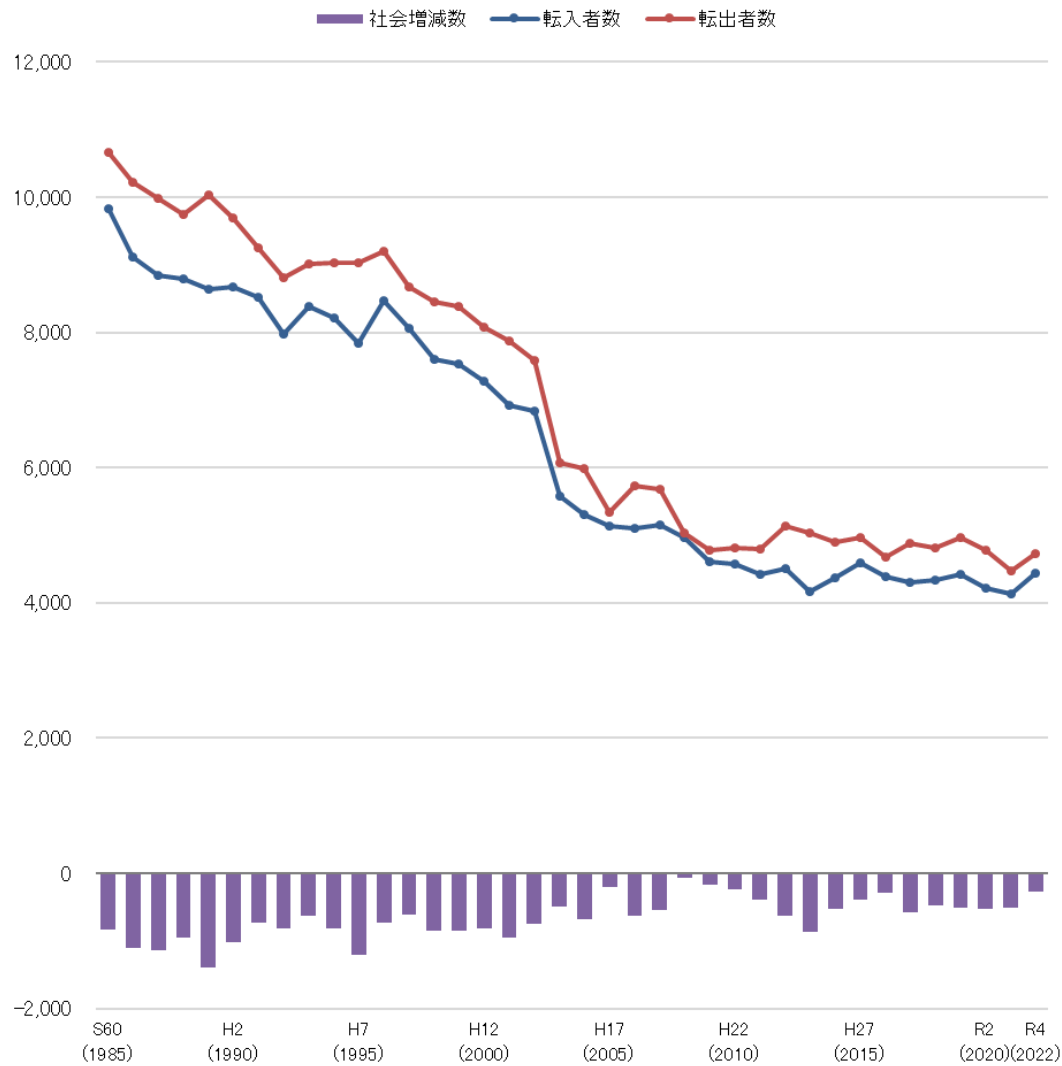


資料：総務省「国勢調査」

社会動態の推移

図1-3-1 社会動態

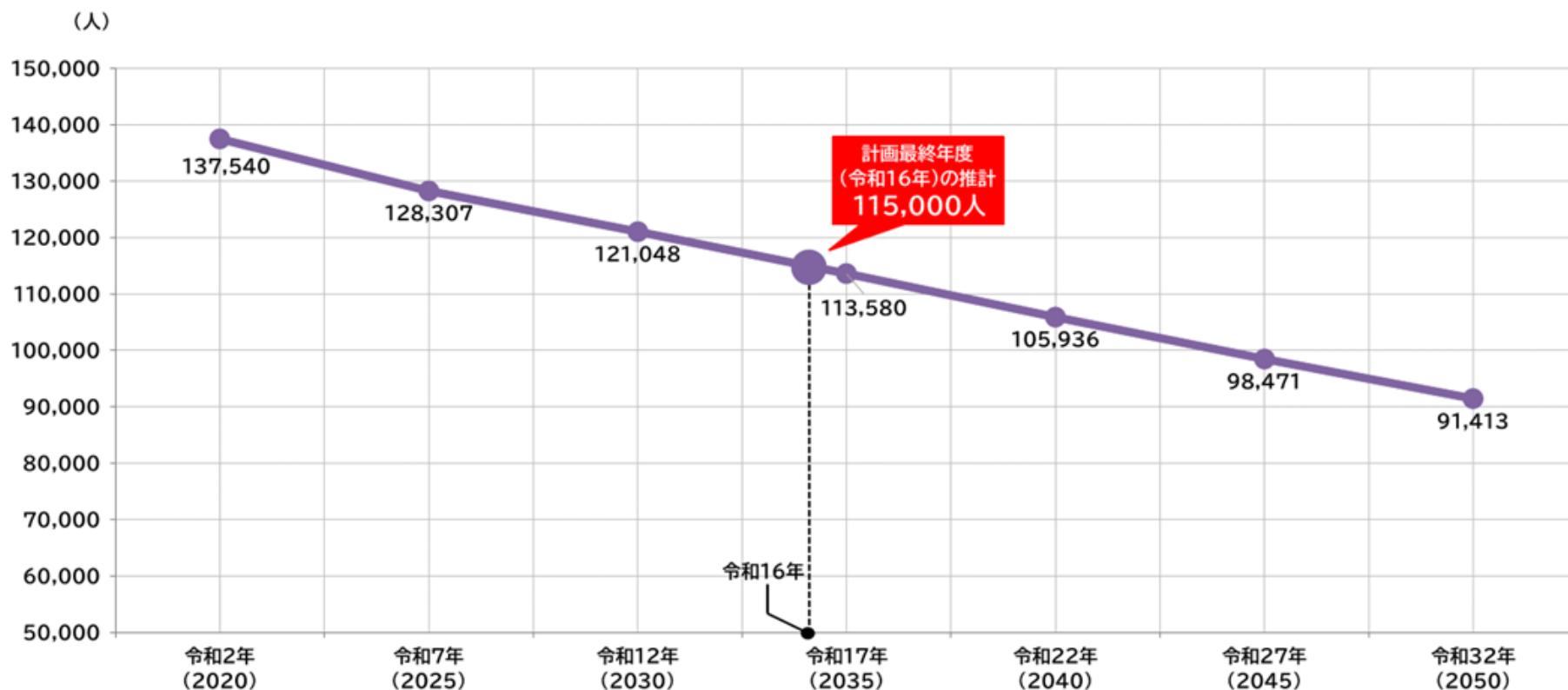
(人口分析 P10)



将来人口の見通し

(人口分析 P31)

図3-2-1将来人口の推計(国立社会保障・人口問題研究所の推計)

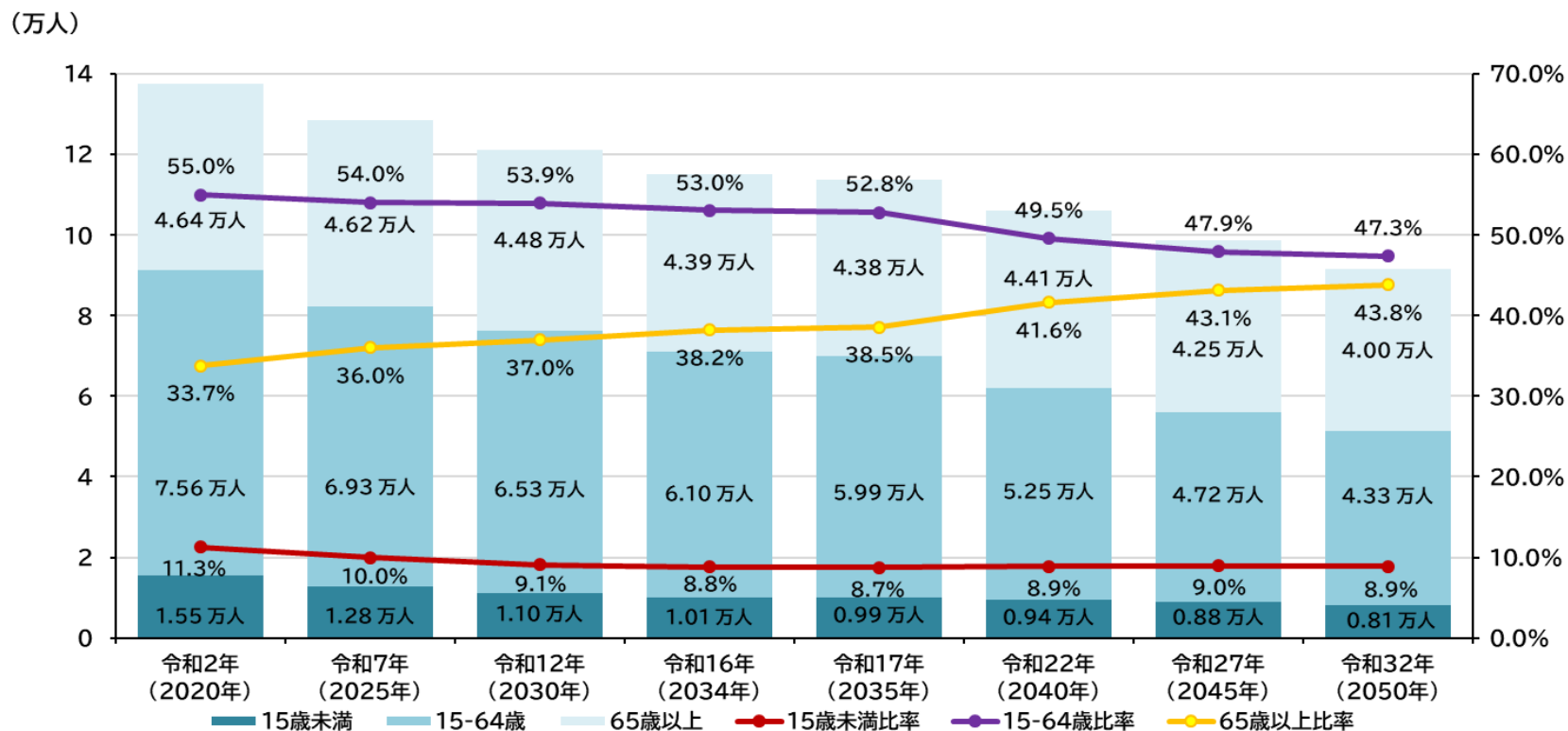


※令和16(2024)年推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに、市が算出

将来人口の見通し

(人口分析 P31)

図3-2-2年齢階層別人口の推計(国立社会保障・人口問題研究所の推計)



※令和16 (2034) 年推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに、市が算出